



第6学年3組 社会科学習指導案

平成17年 6月 9日(木)
指導者 菊池 健一

1 小单元名 「源頼朝と武士の世の中」

2 小单元について

(1) 児童の実態について

本学級の児童は、男女の仲が良く穏やかであり、学習へ積極的に取り組むことができる。自分自身で疑問に感じたことなどを課題としてもち、その課題を追究していく学習が大変好きである。また、縄文土器づくりなどの体験活動にも意欲的に取り組むことができる。

これまでの学習では豊かな体験活動を行うとともに、児童自身が学習課題を見つけ、問題意識をもって学習に取り組むような指導を行ってきた。また、各教科を通して自分で調べたことや、自分が考えたことなどを友達に発表したり、友達と討論する機会も多く設けてきた。

これまでに社会科では、奈良の大仏を模造紙で作り、その大きさを体感し、「どうして大仏がつくられたのか」「このころの世の中はどうなっていたのか」ということについて自分で課題を決め、追究する学習を行ってきた。

本单元においても、源平の合戦や武士の勢力の広がりなどについて、児童が自分で課題をもち、追究していく活動を取り入れていきたい。また、ゲストティーチャー(裏千家)による茶の湯体験などの豊かな体験活動も行っていきたい。

(2) 学習指導要領について

本小单元は、小学校学習指導要領社会科第6学年の目標(1)(3)及び内容(1)のウを受けて設定したものである。目標及び内容については、以下のようにとらえた。

(1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるよ

うにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。

国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるとは、

【理解目標】

源平の戦いや鎌倉幕府の始まり、元との戦いなどの歴史的事象を通して、武士による政治が始まったことを理解できるようにすること。また、武士による政治の始まりについて自分が設定した問題を主体的に調べ、発表すること。さらに、室町文化について具体的な体験を通して当時の人々の願いやものの考え方が具現化されたものであり、今もなお私たちの生活の中に根付いていることを理解すること。



我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるとは、【態度目標】

武士による政治を始めていった源頼朝を中心とする人物の業績を調べ、武士中心の世の中をつくっていくために行われた様々な方策を共感的にとらえること。また、室町時代に始まった文化が現在もなお生活のまわりに根付いたものであり、今後も大切にしていこうとすること。

(3) 社会的事象を具体的に調査し、地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味を広い視野から考える力を育てるようにする。

社会的事象を具体的に調査し、地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現する力を育てるとは、【能力目標】

鎌倉幕府の始まりについて図書資料やインターネット、映像資料などの各種資料を効果的に活用して調べたり、調べたことを目的に応じた方法で表現したりする力を育てるようにすること。

社会的事象の意味を広い視野から考える力を育てるとは、【能力目標】

武士による政治の始まりや室町文化について、それらが我が国の国家・社会の発展に果たした役割を考える力をそだてること。

内容(1) 我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

我が国の歴史上の主な事象とは、我が国の歴史の進展に大きな影響を与えた各時代の代表的な歴史的な事象のこと。

人物の働きとは、国家・社会の発展に貢献した先人の働きのこと。

代表的な文化遺産とは、人々の工夫や努力によって生み出され、国家・社会の発展を象徴する優れた文化遺産のこと。

遺跡や文化財、資料などを活用して調べとは、身近な地域や国土に残る遺跡や文化財を調べたり、年表や文章資料などの資料を活用したりして調べること。

歴史を学ぶ意味を考えるようにするとは、現在の自分たちの生活や国家・社会の発展の基盤がどこにあるのかを考えたり過去の出来事を現在及び将来の発展に生かすことを考えたりすることができるようにすること。

自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにするとは、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に歴史を学ぶことによって、今日の自分たちの生活は、長い間の我が国の歴史や先人たちの働きの上に成り立っていることから、遠い祖先の生活が自分たちの生活と深くかかわっていることを理解できるようにすること。



ウ 源平の戦い、鎌倉文化の始まり、元との戦い、京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画

について調べ、武士による政治が始まったことや室町文化が生まれたことが分かること。

源平の戦い、鎌倉文化の始まり、元との戦い、京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画について調べるとは、平清盛や源義経の活躍や征夷大将軍に任じられた源頼朝が鎌倉に幕府を開いたこと、北条時宗が全国の武士を動員して元の攻撃を退けたことなどを調べ、武士による政治が始まったことや幕府が全国的に力をもったことを理解すること。また、建造物や絵画を取り上げて調べ、今日的生活文化に直結する要素をもつ室町文化が生まれたことが分かるようにすること。

武士による政治が始まったことや室町文化が生まれたことが分かるとは、源頼朝が鎌倉に幕府を開き、武士が勢力をもつようになったことが分かるようにすること。また、京都の室町に幕府が置かれたころに、足利義満や足利義政によって代表的な建造物が建てられたことや、雪舟によって日本風の水墨画が生み出されたことが分かるようにすること。

以上のことをふまえて、本小単元における基礎・基本を以下のようにとらえた。

【理解】 武士による政治が始まったことが分かること。

室町文化が現在の生活につながっていることが分かること。

【態度】 武士による政治の始まりについて進んで問題を見だし、調べようとする事。

室町文化について体験活動を通して理解を深め、これからもそれらを大切にしていこうとすること。

【能力】 武士による政治の始まりについて各種資料などを効果的に用いて調べたり、目的に応じた方法で発表することができること。

(3) 指導観について

本学級の児童は、全体的に見て学習に意欲的に取り組むことができる。調べ学習の際には適切な方法を選択し黙々と調べている。また、友達と話し合いながら学習したことをまとめていくことも好きである。

そこで、学習を児童主体に展開できるように、問題解決的な学習を取り入れていくこととした。源平の合戦や源頼朝の政治について、児童が自分で問題を見つけ、主体的に解決していくようにする。問題解決の方法として、教科書や資料集、さらには学校図書館などの図書資料を用いて調べたり、インターネット、学校放送の映像資料を効果的に活用しながら情報を集めていく活動を行っていきたい。さらに、調べたことを友達とともにまとめ、発表する活動も行っていく。

この単元では武士の政治の始まりや室町文化についての理解を深めていくとともに、自分の見つけた問題に対して効果的な解決の方法を考え、さらに収集した情報をまとめ、分かりやすく聞き手に伝えることができるようにすることもねらいとしていく。



3 小単元の目標と評価規準

源平の合戦や源頼朝の働き、鎌倉幕府の始まり、元との戦い、室町の文化について調べ、武士の政治が始まったことや室町文化が生まれたことが分かる。

	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の 技能・表現	社会的事象について の知識・理解
評価 規 準	武士が力をもった経緯や武士による政治の様子、室町文化などに関心をもち、意欲的に調べようとする。	武士が力をもった経緯や武士による政治の様子、室町文化などから学習問題を見いだして追究・解決し、武士の社会の仕組みや室町文化の特色について考え、適切に判断する。	写真や地図、絵図等の資料を効果的に活用し、武士による政治が始まったことや新しい文化について調べるとともに、調べたことや分かったことを目的に応じた方法で表現する。	源頼朝が貴族に代わって政治を始めたことや武士や民衆の中から室町文化が生まれ広まっていったことを理解している。
具 体 の 評 価 規 準	武士の館と貴族の暮らしを比較しながら、違いや共通点を意欲的に読みとっている。 源平の合戦に関心をもち、どのようにして源氏が勢力を拡大していったかを意欲的に調べ、考えながら追究している。 室町文化に関心をもち、その場の雰囲気を感じながら意欲的に茶の湯体験に取り組んでいる。	武士が力をもった経緯や武士による政治の様子、室町文化などについて問題意識をもち学習の見通しをもって、追究・解決している。 源頼朝が行った武士の政治がご恩と奉公で成り立っていることや元との戦いが与えた影響について考え、適切に判断している。 室町文化の特色について考え、適切に判断している。	源平の合戦や源頼朝が始めた鎌倉幕府の政治について、図書資料やインターネット、映像資料などを効果的に活用して調べている。 茶の湯体験や水墨画体験を通して、当時の人々の思いを想像したり、分かったことをノートなどにまとめている。	武士による政治が始まったことと幕府が全国に力をもつようになったことが分かる。 室町文化は、武士や庶民の間に広まり、今もなお残っているものが多いということが分かっている。



4 小単元の指導と評価の計画（11時間扱い）

	時	主な学習活動・内容	評価 指導の手だて ・指導上の留意点	主な資料
つかむ		学校放送『にんげん日本史』の「源頼朝と源義経」を視聴し、感想を持つ。 武士の館の絵から武士の生活に関心をもつ。	学校放送番組を見ながら源頼朝や源平の戦いに興味を持たせ、頼朝が平氏を滅ぼした後にどのような政治を行ったのかを考えさせるようにする。 源平の合戦や武士の生活に関心をもち、源頼朝の業績について関心をもとうとする。 (関心・意欲・態度)	・教科書 ・学校放送番組VTR ・武士の館の図
		源頼朝や武士たちは、どのような世の中をつくり、どのような政治をしたのだろうか。		・源頼朝等の人物
		鎌倉幕府の行った政治について調べたいと思うことを考える。 同じような課題を持った友達とグループをつくる。 課題について調べていく計画を立てる。	源頼朝の政治や鎌倉幕府の様子などについて調べたいと思うことを自由に書かせて、それぞれを同じカテゴリーに分ける。(KJ法) ・調べる課題が思い浮かばないでいる児童には学校放送のVTRを想起させ、一緒に学習問題をつくるようにしていく。 武士の世の中や政治について自分が調べてみたいと思うことを考えることができる。 (関心・意欲・態度)	画 ・鎌倉鳥瞰図 ・ワークシート ・模造紙
調		課題について調べ学習を行う。	教科書・資料集などの図書資料、インターネットなどの方法を選択さ	・図書資料



<p>べ る</p>		<p>せるようにする。 自分たちが設定した問題について、 資料などを効果的に活用しながら 解決している。 (社会的な思考・判断 技能・ 表現)</p>	
<p>ま と め る</p>	<p>調べたことについて 発表の準備をする。</p> <p>発表会をする。</p> <p>源頼朝の政治について イメージマップづ くりをする。 ・源頼朝の政治 ・鎌倉幕府の組織 ・御恩と奉公</p>	<p>調べたことを効果的に伝えること ができるように発表の仕方の例を 模造紙にまとめる 劇 ペープサート 紙芝居</p> <p>・グループの全員で協力して取りま せる。 グループで調べたことについて、大 切な事項をおさえながら分かりや すくまとめることができる。 (社会的な思考・判断 技 能・表現)</p> <p>児童が主体的に発表を聞きにいけ るように、パビリオン形式の発表会 にする。 児童が聞き手をより意識できるよ うに、保護者にも聞き手として発表 会に参加してもらうようにする。 保護者にも学校放送『にんげん日本 史』の該当番組を視聴しておいて もらえるように事前に連絡をして おくようにする。</p> <p>・発表を聞きながらをメモするよ うにさせる。 グループで調べたことを大切な事 項をおさえながら分かりやすく発 表することができる。 (社会的な思考・判断 技 能・表現) 発表を聞き、鎌倉時代の生活や政治</p>	<p>・模造紙 ・画用紙</p> <p>・各グループのテ ーマを書いた用 紙 ・ワークシート ・感想用紙 (保護者記入 用)</p> <p>・イメージマッ プ ・人物画 ・鎌倉鳥瞰図</p>



	<p>・鎌倉の地域の特徴</p> <p>元寇についてまとめる。</p> <p>室町文化にふれる。 (茶の湯体験)</p> <p>学習のまとめを行う。</p>	<p>について大切な事柄をメモすることができる。</p> <p>(知識・理解)</p> <p>グループで調べたことや友達の発表を聞いて分かったことを整理できるようにする。</p> <p>・発表会で用いたメモやノートなどを参照させるようにする。</p> <p>・黒板にも大きくイメージマップをつくり、児童の言葉でまとめていくようにする。</p> <p>映像資料を用いて元寇の様子についてイメージを持てるようにする。</p> <p>元寇により幕府の力が衰えていったことが分かる。</p> <p>(知識・理解)</p> <p>裏千家の先生にゲストティーチャーとして指導していただき、茶の湯についての理解を深める。 (関心・意欲・態度 技能・表現 知識・理解)</p> <p>たしかめのテストを行う。</p> <p>・早く終わった児童から茶の湯体験の感想などをまとめさせるようにする。</p>	<p>・発表会の資料</p> <p>・元寇のVTR</p> <p>・北条時宗人物画</p> <p>・お茶の用具</p> <p>・感想用紙</p>
--	--	--	--



5 本時の指導(7/11)

(1) 目標 武士のつくった世の中の様子や武士の政治についてまとめたことを分かりやすく伝えることができる。

(資料活用の技能・表現)

(2) 展開

学習活動・学習内容	評価 支援 ・指導上の留意点	資料等	時間
1 本時の学習について知る。	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動を写真で振り返り、発表会への意欲を高める。 本時は調べたことを発表するとともに、他のグループの発表を聞きながら学習を深めていくことを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習風景の画像 源頼朝人物像 	5
鎌倉時代について調べたことを発表しあおう。			
2 発表会を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 源頼朝の政治 鎌倉幕府の組織 武士の生活 鎌倉の地域の特徴 	<ul style="list-style-type: none"> パビリオン形式の発表にし、児童が主体的に発表を聞きにいけるようにする。 発表を2部制とし、前後半交代で発表を行うようにする。 保護者に聞き手として参加してもらい、児童の発表に対して感想などを話してもらうようにする。 発表を聞いて分からないことなどを質問するようにさせる。 各グループの発表を聞き、重要な事柄について補足するようにする。 メモが取れない児童には、寄り添って大事な事柄をメモするように助言するようにする。 武士のつくった世の中について、自分たちが調べたことを大切な事柄をおさえながら発表することができる。 <p style="text-align: center;">(資料活用の技能・表現)</p> 他のグループの発表を聞きながら、	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 各グループ発表資料 	30



3 発表会の感想をまとめる。	武士のつくった世の中や生活などについて大切な事柄をメモすることができる。 (社会的な思考)	・ワークシート	3
4 次時の予告を聞く。	初めて分かったことや、発表を聞いて驚いたことなどをまとめるようにさせる。 数人の児童に発表させるようにする。 次時は調べてきた内容を整理することを知らせるようにする。		2

6 備考 在籍児童数 男子17名 女子16名 合計33名



『にんげん日本史』

「源頼朝と義経」番組分析

主題：源頼朝は兄弟の関係を断ち切っても武士による団結を重んじ、武士による政治を整えていった。

番組の流れ・演出上の工夫

番組の段落	段落の内容	演出上の工夫
【頼朝と義経・・・別れと再会】	<p>オープニング・・・壇ノ浦の様子</p> <p>2人の生い立ち</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の都は荒れていた。武士の台頭 平清盛に源義朝が倒される。 (頼朝と義経は義朝の息子) <p>平氏の政治が始まり 頼朝と義経の境遇 (頼朝 伊豆へ 義経 鞍馬寺・平泉へ)</p> <p>武士の不満から頼朝挙兵へ (富士川の戦い 義経との再会)</p>	<p>映像と壇ノ浦の戦いの絵画</p> <p>武士による争いの映像</p> <p>伊豆と鞍馬寺、奥州平泉の映像</p> <p>頼朝と義経の再会のシーンの再現</p>
【武士としての立場】	<p>頼朝は義経に冷たかった！</p> <p>頼朝は鎌倉で町づくりを始めた。</p> <p>頼朝に馬の手綱引きを命ずる。</p> <ul style="list-style-type: none"> まだ何の働きもしていない 義経を重用すると武士の団結を壊す <p>武士の館の様子(塀・堀)</p> <ul style="list-style-type: none"> 領地を耕す 武芸のうでを磨く <p>平氏の失敗</p> <ul style="list-style-type: none"> 身内ばかりを重用して不満があった 	<p>鎌倉の映像(鶴ヶ丘八幡宮など)イメージのシーン</p> <p>武士の館の模型、武芸を磨いている様子の絵画</p> <p>ご恩と奉公のテロップ</p>



	頼朝の政治 <u>ご恩と奉公</u>	
【源兄弟クイズ】	頼朝はかかあ天下か？ ・北条氏は一番の支えだったから 義経はチンギスハーンになった？	次の学習事項(北条氏による政治)へのつなぎにもなっている。
【義経の活躍 頼朝の不安】	<u>一ノ谷の戦い</u> 義経の逆落とし <u>屋島の戦い</u> 5艘の船で奇襲をかける 朝廷は義経を検非違使に任ずる。 朝廷は義経を利用して権力を取り戻そうとした。 <u>壇ノ浦の戦い</u> 500の平氏 VS 800の源氏 平氏の滅亡 ・義経は一人で勝った気であるとの手紙 ・頼朝は義経を追放	一ノ谷(神戸市)の映像 合戦の様子 合戦の様子 朝廷の資料 義経の派手な衣装 合戦の様子の映像 合戦の様子の絵画
【頼朝と義経 兄弟の結末】	<u>義経は謀反人</u> 義経は頼朝と戦う決意をする。 ・京に戻っても見方はいいない ・奥州に戻っても裏切りにあう 31年の生涯を閉じる。 頼朝は征夷大將軍に 頼朝の死後、北条氏の政治へ 武士の時代はその後650年続く。	京や奥州の様子の映像

授業への取り入れ方等

調べ学習の課題を見つけていくために番組を見ることをあらかじめ告げておく。



< 児童が設定する課題 >

- ・ 鎌倉幕府について
- ・ 頼朝の生涯
- ・ 鎌倉の都について（切り通しなど）
- ・ 武士の館について
- ・ 武芸について（流鏝馬など）
- ・ 義経の生涯について
- ・ 北条政子について

一ノ谷などの位置確認をするために日本地図が必要。
義経が頼朝に許しを願った書状の資料を用意。